

第8回 成瀬小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2024年11月12日（火） 9:30～10:38	
開催場所	町田市立南第二小学校 3階 コンピュータ室（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	尾上委員、井伊委員、鈴木委員、福土委員、岩澤委員、柴田委員、中村委員、沖委員、赤澤委員、後藤委員、○隅田委員、山本委員、◎古成委員、遠藤委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター、児童青少年課
傍聴者	1名	

議事内容（敬称略）

1 第7回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1説明）

委員 校歌の2番に、「虹」という言葉があったと思うが、それがなくなった理由を教えてください。

新たな学校推進課 校歌は、子どもたちの意見を踏まえたうえで、校長先生を中心とした学校の先生方が議論をして決定した。

その中で、「虹の橋」という単語については、子どもたちから好きという声が多く、歌詞に使いたいと思っていた。しかし、「虹の橋」には、ペットが亡くなった後、虹の橋のたもとで飼い主を待ち、一緒に新しい世界に行くという話を連想させるという意見があり、その話を連想させてしまう言葉であるため、前向きな校歌にはあまりふさわしくないのでは、という議論があり、歌詞を変更した。

2 報告事項

（1）特例措置による在校生の学区外通学制度の申請結果について

新たな学校推進課 （資料2-1説明）

委員 申請結果の表に書かれている数字は在校生全員か。

新たな学校推進課 例えば、高ヶ坂小学校の5人や成瀬中央小学校の2人というのは、学区が変わる場所に住んでいる在校生の数。南第二小学校や南成瀬小学校に関しては、来年度のことなので、新しく入ってくる新1年生と卒業する6年生は除いた、現在の1年生から5年生の数字となっている。

（2）学童保育クラブ統合に向けた事業の進捗について

児童青少年課 （資料の2-2説明）

委員 学童クラブの入会は年1回か、それとも随時申込みが可能なのか。

児童青少年課 毎年10月から11月が一斉入会期間となり、そこにお申込みいただいた方の中で、低学年と障がいのある方は全て受け入れるということで進めている。しかし、そ

れ以降についても随時受付をしており、空きがあれば入会が可能である。

委員 40人を1クラスとし、職員が2人ということだが、随時の増員でこの基準を超えた場合、職員を増やす対応はするのか。

児童青少年課 定員自体は年度で決めるため、それ以上に入会申請が来た場合には受入れができず、途中で職員を増員する対応はしない。

委員 今の話だと、入会希望があればスペースを増やすということだと思うが、成瀬小学校は増級に向けたスペースの確保のめどが立っているのか。定員に対して何%の状態でのスタートとなるのかを教えてください。

児童青少年課 現在の入会児童数を合わせると189名だが、200名程度を想定した育成スペースを学校に確保していただいている。

200名を超えた場合は学校長と相談し、もう1部屋、タイムシェアという形で利用できないか交渉させていただくことになるかと思う。

委員 タイムシェアもかなり厳しい状況であるという実態もある。学校教育そのものに影響を与えては何にもならないので、現場の実情も踏まえて落としどころを考えてほしい。

委員 夏休みになると入会希望者が多くなると思うが、職員はそれを見越した数となっているのか。

児童青少年課 夏休みは朝から夜までの保育になるため、各法人でアルバイト等により人数を確保している。そのため、夏休みは全体的な職員の数が増える。

委員 確認だが、成瀬学童保育クラブの定員は200名ということでもいいか。

児童青少年課 想定は200名だが、今まさに一斉入会の集計をしており、最終的な定員はこれから決定する。

委員 その定員によって職員の数が決まるということは、現時点では確定していないということか。

児童青少年課 まだ確定はしていない。

委員 部屋をタイムシェアするという話があったが、例えばまちともの活動があったり、色々ある中で先生方も苦労している。そこに学童が入ってくることによりやり取りが大変になってしまうこともあると思うため、タイムシェアの方法をもう少し合理的にできるように考えてほしい。

(3)「今後の町田市立小中学校のプール整備方針」の策定について

施設課 (資料2-3説明)

委員 先週、学校の防災訓練に参加した際、仮設トイレはプールの水で流すという話を聞いた。プールが集約化された際、プールがない学校は別の方法で水をためるなど、防災面について考えているのか、お聞きしたい。

施設課 新しい学校については雨水貯留槽をつくり、マンホールトイレはその水を利用する。

委員 雨水貯留槽は成瀬小学校にもつくと決まっているのか。

施設課

成瀬小学校も雨水利用を考えている。

(4) 2024年度における学校の取組について

委員 (資料2-4説明)

委員 資料にはないが、今週の土曜日に第1回目の成瀬小学校への通学シミュレーションを行う。全3回を予定しており、第2回は12月、第3回は1月に行う。新校開校に向けて子どもたちの交流が順調に進んでいるが、もう一つ大事なことが子どもたちの安全である。

今使っている通学路は、日頃より安全対策や通学路点検等で確認をしているため推奨できるが、向かう先が変わる。そのため、現在の南成瀬小学校に向けて、自宅からのドア・ツー・ドアで、どこが一番安全、かつ子どもたちに負担ができるだけかからない短い距離で行けるのかを実際に親子で歩くことによって、いろいろな課題等に気づいていただきたいという趣旨で実施をする。

当日は学区の地図を用い、その裏面に参加したうえでのご質問やご意見、あるいは私たちが見逃している危険箇所等について記入していただき、それを踏まえてできることをやっていくということを考えている。当日使用する図面の中では、使用しないでいただきたい道や、推奨コース等を記載している。これは、これまでの検討会や推進協議会の中でいただいたご意見を踏まえ、本校で仮の通学路案としてお示しさせていただいたものを記載している。

この取組に加え、見守りの方を増やすためのポスターを作成した。つい先日実施した安全委員会では、地域の方、学校のPTAの代表の方、町田警察署の方も一緒に知恵を出してくださっているため、この取組をぜひ成瀬小学校にも引き継いでいけたらと思っている。

委員 児童事前交流について、私が保護者から聞いた話と、放課後「まちとも」の際に子どもたちと話した感想を伝える。

まず、全校遠足については、6年生の子どもが、行きも帰りも歩き、6年生らしくリーダーシップをとって活動したという話を帰ってきてからしており、いい体験だったと思う。

次に、成瀬小学校開校前児童交流会については、当日実際に観覧したが、地元のフットサルチーム、ペスカドーラのドーラくんが来てくれたため、子どもたちも地元のことを知ることができ、いい雰囲気作りができたと思う。

その後の「まちとも」では、記念品のポストカードをみんなが私に見せてくれてとても喜んでおり、今日あったことの大切さや特別感がみんなに伝わっていると感じた。2校の全校生徒が総合体育館で集まったことはとてもいい機会だったと思う。

最後に、6年生の連合体育大会については、こちらも現地に顔を出すことができた。6年生も何度か交流をしているため、友達同士で交流ができている印象があった。私たち保護者が、子どもたちが交流している様子を見るのは初めてだったため、いい機会になった。また、幼稚園ぶり、6年ぶりに会う保護者の方にも会うことがで

き、とてもいい機会になった。中学校に行ってもよろしく、という保護者同士の話もでき、中学校に上がるいいきっかけになる会だったと思う。

(5) 市民生活の拠点づくりに向けて(地域活用型学校を目指して)

新たな学校推進課 (資料2-5説明)

委員 児童の事前交流について、私も総合体育館で観覧したが、2校がこれまで地道に重ねてきた交流が分かるような児童の様子だったため、とても安心し、大人も背中を押されるような気持ちになった。

先ほどみなみ組が学校を見学に来たというお話があったが、南成瀬小学校は今まで特別支援級の教室がなく、転用工事を行ったと思う。例えば、今後車椅子を利用している児童が体育館や上の階の教室に移動する際はどうする想定なのか。

これから3年間あるが、エレベーターを設置するわけでもないと思うが、どう対応するのか。

委員 みなみ組には、今は車椅子を利用している児童はいないということもあり、エレベーターの設置は難しいと思う。しかし、随所にバリアフリー仕様への変更工事は行われており、今後もそのあたりは継続して行くと聞いている。

今回、南成瀬小学校をみなみ組の児童が訪問したことには2つの狙いがある。1つは、環境の変化に前もって慣れておくということであり、大きな変化に不安を感じる児童への配慮ということで、4月から使う教室をみて安心してもらうため。

もう一つは、南成瀬小学校の児童にもみなみ組に対する理解を深めてもらいたいということであり、偏見ではなく、ありのままを、お互いが関わり合う中で知ってほしいため。今でも通常級の中に入って交流しているため、どこにいる子がみなみ組の児童なのか、いい意味であまりよく分からない状態で交流している。しかし、みなみ組という仕組みの中での交流は意図的に機会をつくらないとできていないため、可能な範囲でもう1回ぐらいはやろうと相談している。

その際、みなみ組の教室を見に行くだけでなく、児童と何らかの関わりを持てる取組にしたいということも相談している。

また、1人、登下校に電動車椅子を使っている児童がいる。先日、本人、保護者と一緒に、実際に自宅から電動車椅子を使って南成瀬小学校までシミュレーションした。私も同行し、道中、段差のあるところは工事のお願いをした。学童保育クラブのトイレの場所も確認し、対応可能だということを確認した。必要に応じて、これから作る仮校舎と学童保育クラブの部分の通路も、できる範囲でバリアフリー化をするという話も出ていていると聞いている。

委員 エレベーターはないが、何か所かスロープを造ったり、誰でもトイレに少し手を入れて使いやすくしていただいたり、そのあたりの準備を少しずつ整えている。

3 次回開催予定

新たな学校推進課 第9回推進協議会

2025年2月4日（火曜日） 9時30分 南成瀬小学校会場